

高齢者施設支援事業についてお聞きします。

今回7波と言われるコロナ感染、多くの方が3回、4回ワクチンを打ったにもかかわらず、尼崎市内の新規感染者1日で1600人を越えた日も何日もあり、6波の時は多くて尼崎市において1日で新規感染者800人ぐらい、だったとおもいます。

今回7波では新規感染者が6波の時の倍以上を記録し大変な事態になりました。

無論、高齢者施設も例外ではありません。高齢者施設に取りまして施設内で感染者を出すと言うことは大変な事になります。ですから万全を尽くして感染者を出さないように注意を払い、家族さんの面会すら出来ないよう、お断りいたしております。

完全に閉鎖をし、万全な注意を払っており、外に出る散歩すら時間を設けて他の人との接触を出来るだけさけております。しかしコロナ感染は防げないのが実態です。

高齢者の中には定期的に病院に行く人もいますし、ヘルパーさんは施設内では万全な予防をしていますが、外では普通の生活をしています。

勿論検査はしておりますが、ここまで注意しても感染者を出してしまいます。そうなると大変です。感染者を部屋から出さない様に隔離したり、そしてその利用者についていた、ヘルパーは当然、濃厚接種者として自宅待機、勿論、コロナに感染してるヘルパーもできません。

高齢者施設は何処もギリギリのヘルパー人数で回しています。たちまちヘルパー不足になります。其れにコロナに感染した利用者を部屋に隔離しますが、ヘルパーを入れ介護をしなければなりません。その場合、完全な体制で介護をしてもらいます。例えば動きやすいナイロンのカッパの様な物を着て、マスクも二枚重ね、ゴム手袋をし、ゴーグルをし、コロナ

感染者専用のヘルパーを作り、感染者だけを見る。そんなヘルパーを用意します。

其れで無くとも高齢者施設はギリギリの人数でやっています。不足したヘルパーを補うために仕方なく在宅のヘルパーに来て貰いますが、そのヘルパーの人件費と、施設で働くヘルパーで自宅待機や感染したヘルパーの人件費、二重の人件費が掛かる事となります。

そして円安による物価の高騰。このままではやって行けない施設も出てくるだろうと思います。もし経営困難になり経営破綻を招く事になれば、1番困るのはそこで生活している、高齢者だと思います。真面目に頑張っている高齢者施設、潰すわけにはいきません。

いままで色々と補助金を出しているのは理解していますが

そこでお聞きします、

更なる追加の補助金を出すお考えはあるのか

あるとするなら、いつ頃の予定なのか教えてください。

今の時点でないのなら是非考えて頂きたいとお願いし、この質問はおわります。

続いて関西、大阪万博会場への海上交通 ドローンタクシーについてお聞きします。

前回の一般質問で、空飛ぶタクシー、尼崎から万博会場まで海上交通としてドローンタクシーを飛ばしませんか、と質問したところ、ビックリするぐらいの前向きな答弁を頂きました。ありがとうございます。

其れに気をよくした訳ではないのですが、市議会だよりや維新の会派報などで、私がした質問で、「尼崎から、関西、大阪万博まで海の上 1.1 キロの距離をドローンタクシーを飛ばしませんか」と質問したことが掲載されました。そして当局の前向きな答弁を見た多くの人から、「面白い、是非乗って見たい。絶対に飛ばして下さい」と多くの人に言われました。

私の質問を知ってるのか、どうかはわかりませんが、万博開催まで 1000 日と言う事で、尼崎で空飛ぶクルマについて知ってもらおうと、試験機による実演飛行がおこなわれました。

空飛ぶクルマはドローンの技術などを応用して人や物を乗せて自動で飛行する乗り物で、尼崎から関西、大阪万博まで海の上を飛びます。万が一事故があっても安全です。

試験機は全長 5.7 メートルの 2 人乗りの無人機体で上空 30 メートルを時速 30 キロで 280 メーターの距離を飛ばしたと聞いております。残念ながら中国製だとの事ですが、出来れば日本製を、本格的に運航が決まれば尼崎を含むオール関西でドローンタクシー作ってもらいたいです。世界が認めた技術を持つ中小企業、大阪や尼崎です作る技術はあると思います。

そこでお聞きします、

前回質問してまだ日にちもたっておりませんが、その後の進捗状況、動きが有れば教えて下さい。

これで私の全ての質問を終わります、ご清聴ありがとうございました。